

# 不登校の実態

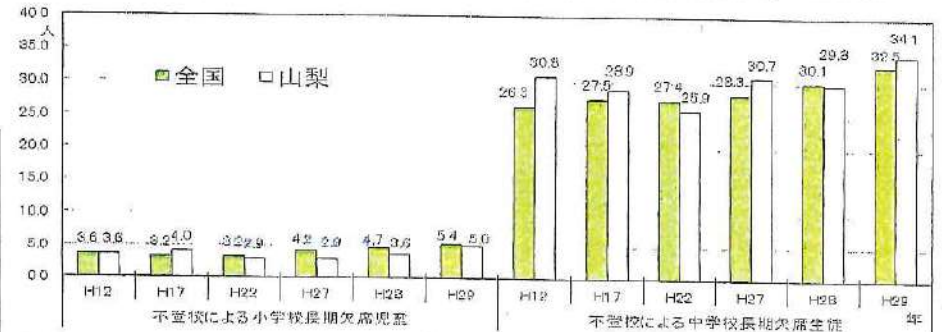
文部科学省が令和元年12月13日に開催された第124回初中分科会資料「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」によると、小・中学校における不登校児童生徒数は181,272人(前年度164,528人)であり、1,000人当たりの不登校児童生徒数は18.8人(前年度16.9人)。**1,000人当たりの不登校児童生徒数は、平成10年度以降、最多**となっている。

高等学校における不登校生徒数は50,100人(前年度52,723人)であり、1,000人当たりの不登校生徒数は、15.8人(前年度16.3人)である。

【国公私立】小・中学校

	不登校児童生徒数	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	不応答	クローズド・部活動等への問題	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転編入学・進級時の不応答	変化	親子の関わり方	家庭内の不和		非行
小学校	53,350	233	5,430	1,267	2,301	175	32	536	1,130	1,330	8,896	921	5,488	21,927	2,974
		0.4%	10.2%	2.4%	4.3%	0.3%	0.1%	1.1%	2.1%	3.6%	16.7%	1.7%	10.3%	41.1%	5.6%
中学校	127,922	330	21,373	1,555	10,830	1,606	1,193	1,462	4,088	3,696	9,555	2,424	10,953	50,471	6,994
		0.3%	17.2%	1.2%	8.5%	1.3%	0.9%	1.1%	3.0%	2.9%	7.3%	1.9%	8.6%	39.5%	5.4%
合計	181,272	563	27,403	2,822	13,131	1,781	1,215	2,058	6,127	5,026	18,451	3,345	16,441	72,398	9,968
		0.3%	15.1%	1.6%	7.2%	1.0%	0.7%	1.1%	3.4%	3.1%	10.2%	1.8%	9.1%	39.9%	5.4%

文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」より抜粋



資料(30・31)：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

不登校児童生徒比率(全国と山梨県比較)

山梨県資料「子供・若者をめぐる現状と課題」より抜粋

平成29年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(文部科学省)によると、本県のいじめの認知件数は、小学校で3,271件、中学校で1,176件、高等学校で212件、特別支援学校では7件、合計4,666件となっており、全国でみても高い割合になっている。